

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成11年8月30日 第22報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	1		
(藍) <i>Microcystis incerta</i> *	10		
(黄鞭) <i>Chromulina</i> sp.	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	39		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i> var. <i>pusilla</i>	10		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	10		
(渦) <i>Peridinium berlinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	180		
(み) <i>Euglena</i> sp.	10		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Carteria</i> sp.	10		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	68		
(緑) <i>Scenedesmus granulatus</i>	120		
(緑) その他の緑藻	10		
(他) その他の植物プランクトン	40		
(藍) 藍藻綱	11	1.6	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	10	1.5	0.6
(珪) 珪藻綱	69	10.3	21.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	1.5	0.6
(褐) 褐色鞭毛藻綱	260	38.9	32.0
(み) みどり虫藻綱	10	1.5	18.6
(緑) 緑藻綱	258	38.6	26.7
(他) その他のプランクトン	40	6.0	0.0
総細胞数	668	総体積	5.2E+05
種類数	18	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第1優占種		個体数 (個体/l)
甲殻類	<i>Nauplius</i> sp.	60

第2優占種		個体数 (個体/l)
甲殻類	<i>Eodiaptomus japonicus</i>	20

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



Rhodomonas sp.
(ロードモナス)
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円で長さが約10 μm と小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Nauplius sp.
(ノウブリウス)
甲殻類

ケンミジンコ等のミジンコ類の幼生。

注)種としては、ミジンコとして扱うべきものであるが、当所では便宜的に一つの個体群として取り扱っている。

コメント:

植物プランクトン相は、最近は全体的に細胞数が少なく推移し、結果的にロードモナス等の褐色鞭毛藻が優占となっている。
例年ではミクロキスティス等の藍藻類による水の華の発生時期であるが、藍藻類そのものの顕著な増殖傾向はあまりみられない。